

石川の歴史探訪

霊峰白山とその周辺の見どころ

石川、福井、富山、岐阜の4県にまたがる白山は、富士山、立山と並び日本三大霊峰に挙げられ山岳信仰の聖地として古くから登拝が行われるなど、信仰を集めてきました。越前の僧、泰澄（たいちょう）が、この白山に登り、登拝を行ったのが始まりで平成29年（2017）に開山1300年を迎えました。



白山室堂の紅葉 「◎石川県観光連盟」



石川県の郷土の花、クロユリ 「◎石川県観光連盟」



冬の白山航空撮影 「◎石川県観光連盟」

しらやまひめ 白山比咩神社

白山比咩神社は、全国3000あまりの白山神社の総本宮であり、加賀の国の一ノ宮として、地元では「白山さん」と呼ばれ親しまれています。白山比咩神社には、高天原の神々から、国産み・神産みを命ぜられ日本列島を創成する伊弉諾尊（いざなぎのみこと）と伊弉冉尊（いざなみのみこと）、後にこの男女の神が争うことになった際、仲裁し縁結びの神とされる白山比咩大神（「菊理媛神（くくりひめのかみ）」との三柱が祀られています。

余談ですが、石川の銘酒、菊姫のなかでもその年で最高の仕上がりの吟醸酒をさらに10年熟成させた最上級酒には、「菊理媛」の名が付けられています。



白山比咩神社の表参道「◎石川県観光連盟」

石川県ふれあい昆虫館

金沢方面からの白山比咩神社へのアクセス道路である石川県道103号鶴来水鳥美川線沿いには、石川県ふれあい昆虫館があり、県内に生息する昆虫を季節ごとに生きたまま展示する“むしむしハウス”、一年をとおして約10種類、およそ1000頭のチョウが舞う姿を観察できる“チョウの園”、世界の代表的な昆虫や珍しい昆虫の標本など、様々な展示コーナーが用意されています。また、企画展示やイベント、お子様向けの昆虫教室も行われており、昆虫好きにおすすめの観光スポットの一つです。



石川県ふれあい昆虫館 「◎石川県観光連盟」

白山恐竜パーク白峰

白山比咩神社から175号線を福井方面に車で30km（1時間ほど）走ると体長6mのティラノサウルスの模型等が展示されている白山恐竜パーク白峰があります。また、園内には小学生から予約不要で化石発掘体験できるコーナーも用意されています。

石川県白山市の全域は白山手取川ジオパークとして2011年に日本ジオパークに認定されています。北陸では、2009年に恐竜渓谷ふくい勝山、2014年には立山黒部が日本ジオパークに認定されています。中でも白山手取川ジオパークは、“世界を代表する中生代白亜紀前期の化石産地であり、東アジアにおいて最初期の古生物学的研究が行われた場所となる。恐竜を含む多種多様な動物化石や植物化石が報告されており、多くの種の生物進化



白山恐竜パーク白峰 (https://city-hakusan.com/learn/hakusan_dinosaur_park/) 「◎石川県観光連盟」

と東アジアの白亜紀の環境を考えるうえで世界的にも重要な地域である”として、2023年に国内10番目のユネスコ世界ジオパークに認定されました（日本ジオパーク委員会HP：<https://jgc.geopark.jp/index.html>）。

Enjoy! Autumn



堅豆腐 「◎石川県観光連盟」



白峰地区で、昔ながらの生しばりという伝統的な製法により作られる堅豆腐はお刺身のようにわさび醤油につけていただきます。お土産として、金沢駅でも購入できます。



[文・写真：遠藤]

